

## ＜ノボザイムズ ジャパン（株）の歩み＞

### ❧ 歴史とあゆみ ❧

- 1923 デンマークのノーベル賞生理学者オーグストロー教授は、カナダのトロント大学から北欧地域でのインスリン製造の権利獲得。ノルディスクインスリン研究所（ノルディスク ゲントフテ社前身）を設立
  
- 1925 ノボ セラピューティクス研究所（ノボ インダストリー社前身）を設立
  
- 1926 「ノルディスク インスリン基金」を設立。  
ノボ インダストリー社は、アピスブルをロゴに決定
  
- 1941 ノボ インダストリー社は、インスリン抽出後の滓臓からトリプシンの分離抽出に成功、皮革加工用酵素として供給開始
  
- 1963 ノボ インダストリー社は、発酵技術による初の洗剤用酵素「アルカラー ゼ®」を生産開始。また、ヨーロッパでグルカゴンを発売
  
- 1970 ノボ インダストリー社酵素事業部は、三井物産（株）との間で、酵素に関する日本における総代理店契約締結



- 1974 ノボ インダストリー社は、コペンハーゲン証券取引所に株式を上場。  
また、産業用固定化酵素として初の異性化糖製造用グルコースイソメラーゼ  
「スウィートザイム(TM)」を 発売
- 1977 ノボ インダストリー社酵素事業部は、ノボ インダストリージャパン（株）  
を設立。スイス、バーゼルにあるドクターシューベルト社を買収、スイス国内に2ヶ所の酵  
素製造工場を持つ
- 1978 ノボ インダストリー社は、ロンドン証券取引所に株式を上場、ユーロ市場での起債など  
財務面での国際化を推進
- 1981 ノボ インダストリー社は、ニューヨーク証券取引所に株式を上場
- 1982 ノボ インダストリージャパン（株）に研究開発部門を増設
- 1988 ノボ インダストリー社は、遺伝子組換え技術による世界初の油脂分解酵素  
「リポラーゼ®」を製造開始
- 1989 ノボ インダストリー社とノルディスク ゲントフテ社が統合し、ノボ ノルディスク社を設立
- 1990 前年の統合に伴い、ノボ インダストリージャパン（株）は幕張テクノガーデンに移転し  
ノボ ノルディスク バイオインダストリー（株）に社名変更
- 1991 ノボ ノルディスク社は、蛋白工学を応用した洗剤用酵素「デュラザイム(TM)」を発売
- 1992 ノボ ノルディスク バイオインダストリー（株）は、日本の独創的・萌芽的酵素研究の  
振興を計り、特に若手研究者の助成を目的とした研究ファンド制度を設立
- 1993 ノボ ノルディスク バイオインダストリー（株）は、研究ファンド対象者の発表の場として、  
第1回酵素シンポジウムを開催。以来、2002年まで毎年開催

- 1994 ノボ ノルディスク社は、環境レポートを北欧企業として初めて発行し世界の先駆けとなる
- 1998 中国天津に酵素製造工場を建設、操業を開始
- 2000 ノボノルディスク社は、酵素部門とヘルスケア部門を分社化。  
酵素部門はノボザイムズ社（社長 兼 CEO に Steen Riisgaard 就任）と社名変更。  
これに伴い、ノボ ノルディスク バイオインダストリージャパン（株）はノボザイムズ ジャパン（株）  
に社名変更
- 2001 ノボザイムズ社は、三井物産（株）との酵素に関する日本における総代理店契約を発展  
的に解消。ノボザイムズ ジャパン（株）による酵素の自社販売始まる。これに伴い幕張テク  
ノガーデンのオフィススペースを拡張し販売部門スタッフを増強。資本金を 5 千万円から  
3 億万円に増資
- 2002 ノボザイムズ ジャパン（株）は、10 周年酵素シンポジウムを開催（9 月 27 日）  
本シンポジウムの基調講演者、クルト・ビュートリッヒ博士が 2002 年度ノーベル化学賞を受賞
- 2007 創立 30 周年を迎え、記念行事開催
- 2012 研究開発部創立 30 周年、及びノボザイムズ研究ファンド 20 周年を迎え、記念行事開催
- 2013 Steen Riisgaard にかわり、ノボザイムズ社 社長 兼 CEO に Peder Holk Nielsen  
就任
- 2016 ノボインダストリー社（現ノボザイムズ社）の洗剤用酵素「アルカラーゼ®」入り洗剤未来技  
術遺産に登録される
- 2017 創立 40 周年を迎え、記念行事開催